

〔江家次第〕正月元日宴會

春興殿南廊西面結管貫張同幔大膳職辨備所

又從右近陣東南角溝東方北行屬射場殿西南角柱更東折從同殿東南角柱亦北折至軒廊東第二

間西柱張同幔右近陣東南角以北立幔柱射場殿西南角以東至于北廊第二間西柱結管貫

〔江家次第〕九月十一日小安殿行幸裝束

承明建禮等門中門東西各當門

東北行立白木柱結白木管貫第一間曳大藏省皂幔

〔大饗雜事〕一幔三十五帖

平筒貫八十枚

屏幔

〔倭名類聚抄屏障具〕帳附 釋名云、帳略 張也、施張於床上也、小帳曰斗俗云斗張、屏幔

〔箋注倭名類聚抄屏障具〕下總本屏風帳作屏帳、廣本作屏幔、按屏幔見儀式新嘗會儀、五節舞儀、正

月七日釋奠菊花宴儀、內裏任官儀、大藏省式紫式部日記榮花物語御賀卷、玉飾卷、西宮記、北山抄

射禮賭弓儀、皇太子元服儀、朝覲新儀式、太后御賀儀、但屏幔與斗帳不同、作屏風帳作屏幔、並不穩

恐必有誤、

〔紫式部日記〕たゝかう殿上人のひたおもてにさしむかひ、おはしましひきおひ、おはしましやるとすれど、おほかたのけしきは、おなじことぞ、見るらんとおもひいづるも、まづむ

ねふたがる、

〔枕草子 十一〕御經のことにあすわたらせおはしまさんとて、こよひまゐりたり、略 中おはしまし

つきたれば、大門のもとに、こまもろこしのがくして、獅子こま犬をどりまひ、さうの音つゝみの

こゑに物もおぼえず、こはいづくの佛の御國などにきにけるにかあらんと、空にひゞきのぼる